

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和2年5月】

■調査概要（データ対象期間：令和2年5月1日～5月31日）

○調査期間：令和2年5月29日～令和2年6月19日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業22企業、製造業20企業、卸売業11企業、小売業25企業

飲食業16企業、サービス業44企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計138企業>

○調査項目：5月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりの意味する。

※ $DI = (\text{増加・好転などの回答割合}) - (\text{減少・悪化などの回答割合})$

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DIともにマイナス幅の縮小

### 1. 業況判断

○全産業合計の業況DI（前年同月比ベース）は、前月（▲60.9）よりマイナス幅が0.1ポイント縮小し、▲60.8となった。業種別では、建設業、卸売業、サービス業ではマイナス幅が縮小した。小売業、飲食業、製造業はマイナス幅が拡大した。

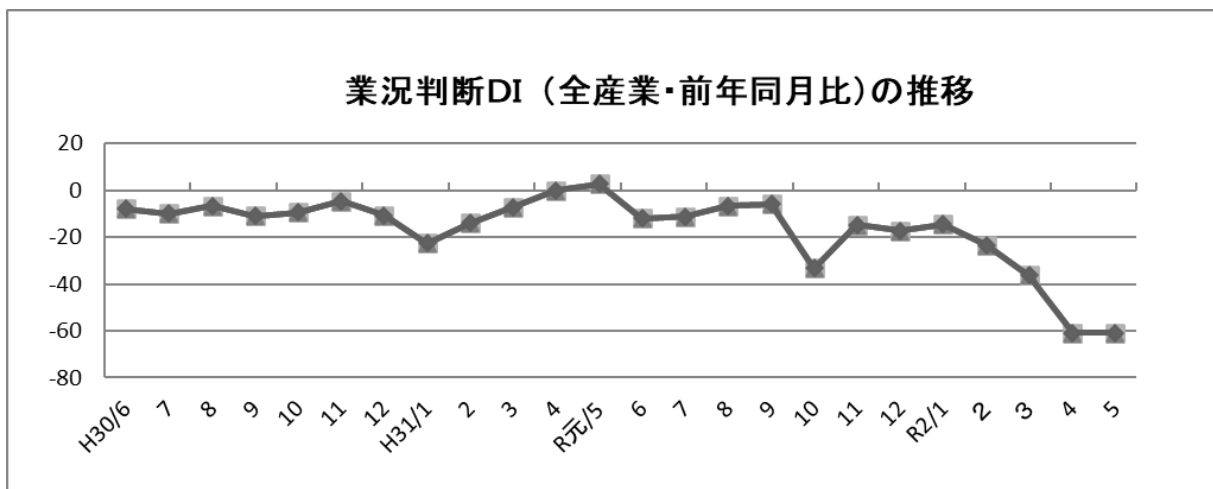
○全産業合計の水準DIは、前月（▲64.1）よりマイナス幅が4.7ポイント縮小し、▲59.4となった。業種別では、建設業、卸売業、サービス業はマイナス幅が縮小した。製造業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	5.1 (4.7)	29.0 (29.7)	65.9 (65.6)	▲ 60.8 (▲ 60.9) ↗	2.9 (2.3)	34.8 (31.3)	62.3 (66.4)	▲ 59.4 (▲ 64.1) ↗
建設業	4.5 (5.0)	72.8 (60.0)	22.7 (35.0)	▲ 18.2 (▲ 30.0) ↗	0.0 (0.0)	77.3 (55.0)	22.7 (45.0)	▲ 22.7 (▲ 45.0) ↗
製造業	5.0 (6.3)	20.0 (18.7)	75.0 (75.0)	▲ 70.0 (▲ 68.7) ↘	0.0 (0.0)	25.0 (31.2)	75.0 (68.8)	▲ 75.0 (▲ 68.8) ↘
卸売業	0.0 (0.0)	27.3 (18.2)	72.7 (81.8)	▲ 72.7 (▲ 81.8) ↗	0.0 (0.0)	36.4 (18.2)	63.6 (81.8)	▲ 63.6 (▲ 81.8) ↗
小売業	12.0 (12.5)	12.0 (20.8)	76.0 (66.7)	▲ 64.0 (▲ 54.2) ↘	12.0 (12.5)	12.0 (16.7)	76.0 (70.8)	▲ 64.0 (▲ 58.3) ↘
飲食業	0.0 (0.0)	0.0 (7.7)	100.0 (92.3)	▲ 100.0 (▲ 92.3) ↘	0.0 (0.0)	6.2 (7.7)	93.8 (92.3)	▲ 93.8 (▲ 92.3) ↘
サービス業	4.5 (2.3)	31.9 (34.1)	63.6 (63.6)	▲ 59.1 (▲ 61.3) ↗	2.3 (0.0)	40.9 (38.6)	56.8 (61.4)	▲ 54.5 (▲ 61.4) ↗

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」・・・前年同月の業況との比較による回答の集計  
 「今月の水準」・・・事業主の方の主観による回答の集計

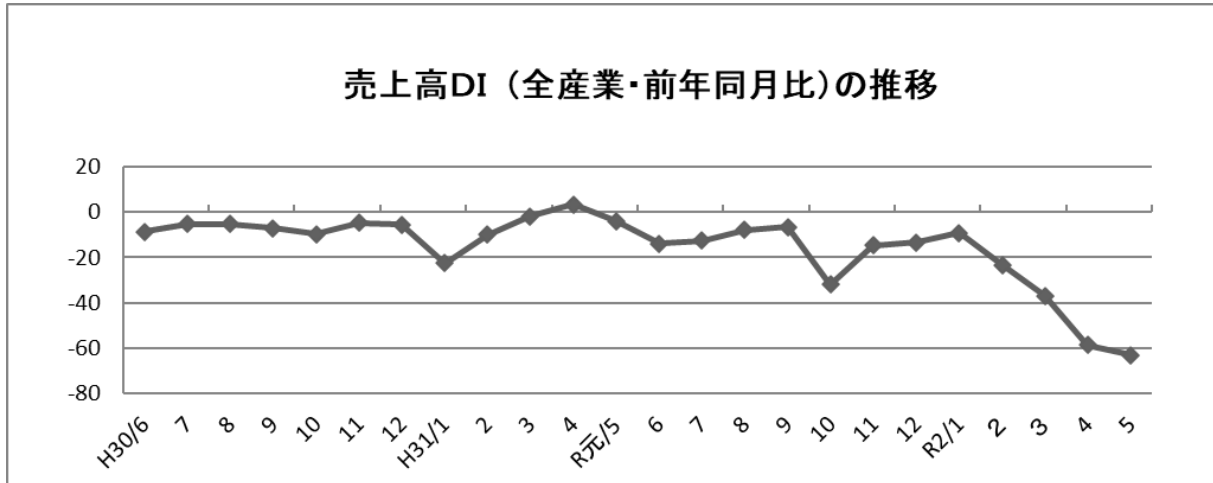


## 2. 売上高D I（前年同月比）

○全産業合計の売上高D Iは、前月（▲58.6）からマイナス幅が4.4ポイント拡大して▲63.0となった。業種別に見ると、建設業、製造業はマイナス幅が縮小し、小売業、卸売業、飲食業、サービス業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 4.0	▲ 13.9	▲ 12.6	▲ 8.0	▲ 6.6	▲ 32.0	▲ 14.6	▲ 13.3	▲ 9.3	▲ 23.4	▲ 37.0	▲ 58.6	▲ 63.0
建 設 業	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2
製 造 業	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0
卸 売 業	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7
小 売 業	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0
飲 食 業	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0
サービス業	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4

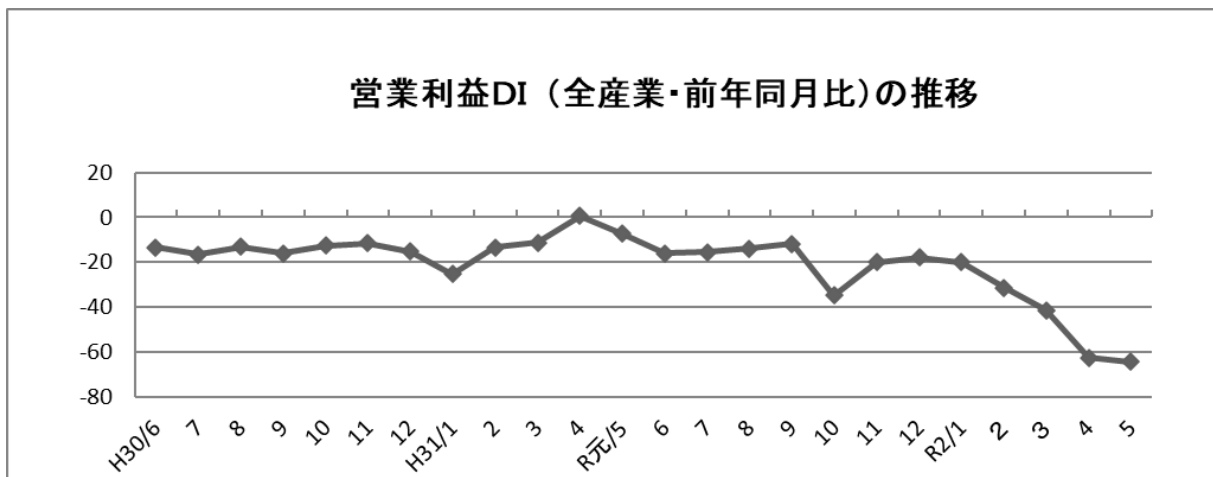


## 3. 営業利益D I（前年同月比）

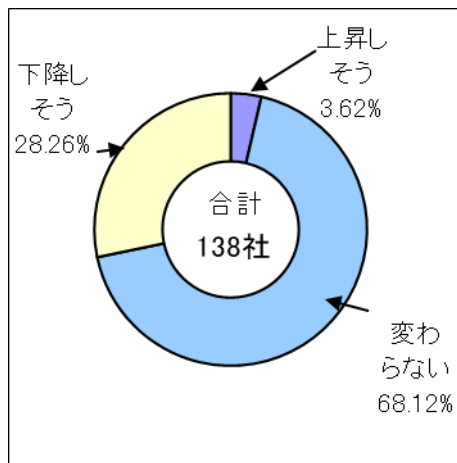
○全産業合計の営業利益D Iは、前月（▲62.5）よりマイナス幅が2.0ポイント拡大して、▲64.5となった。業種別に見ると、製造業、建設業はマイナス幅が縮小した。サービス業は変化がなかった。卸売業、小売業、飲食業はマイナス幅が拡大した。

【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
全 体	▲ 7.4	▲ 15.9	▲ 15.4	▲ 14.0	▲ 11.8	▲ 34.7	▲ 20.0	▲ 17.8	▲ 20.0	▲ 31.3	▲ 41.5	▲ 62.5	▲ 64.5
建 設 業	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8
製 造 業	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0
卸 売 業	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9
小 売 業	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0
飲 食 業	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0
サービス業	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

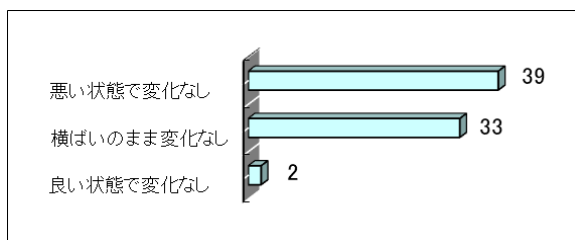


○令和2年6月～令和2年8月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ0.49ポイント増加し3.62%、「下降しそう」が10.80ポイント減少し28.26%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲13.7)、製造業(▲30.0)、卸売業(▲45.5)、小売業(▲32.0)、飲食業(▲18.7)、サービス業(▲20.5)であった。

➡「上昇しそう」では「新しい案件が出てきて動きそうなため」(建設業)、「今月が最低と予想するため」(卸売業)、「新型コロナウイルス感染症が収まり通常に戻りつつあるため」(飲食業)「緊急事態宣言が解除され仕事が出てくるため」「新型コロナウイルス感染症の影響がいったん落ち着くと思うため」(サービス業)といった声が寄せられた。

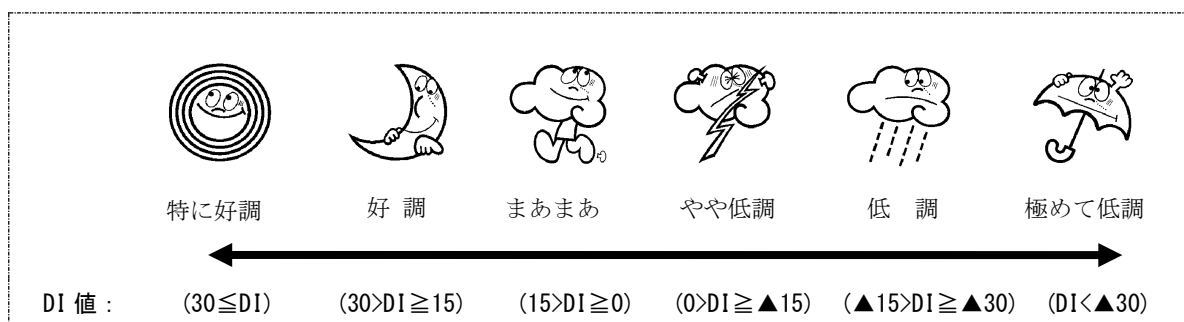
➡「変わらない」では「新型コロナウイルス感染症の影響が残るため」(製造業)、「新規案件獲得のための打ち合わせができないため」「新型コロナウイルスの影響から再就職のための訓練希望者が増加する可能性がある一方で、教室での感染を恐れ訓練応募者の減少も見込まれるため。」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「物件が少なく、受注単価が減少するため」「当社は5月決算のため、6月、7月は毎年悪いため」「単価の下降が見受けられるようになってきたため」(建設業)「注文がないため」「製造業等で設備投資を見送ると建設需要にも影響が広がる可能性が高いため」「受注が23%ダウンしているため」(製造業)「住宅着工戸数の指標が大幅に悪化したため」(卸売業)「顧客様にセール等の案内をしても「出かけないので必要ない」という方が多かったため」「経済の停滞により受注が減ると考えられるため」(小売業)「宴会等の予約が当面見込めないため」(飲食業)「コロナ禍で、出足は鈍いと感じるため」「荷動きが悪いため」「各イベントの中止のため」(サービス業)「新型コロナウイルス感染症の影響が続くため(同意見18件)」といった声が寄せられた。

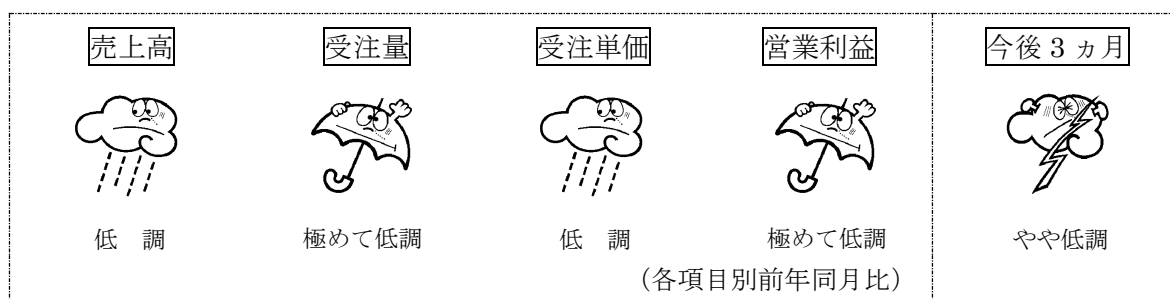


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



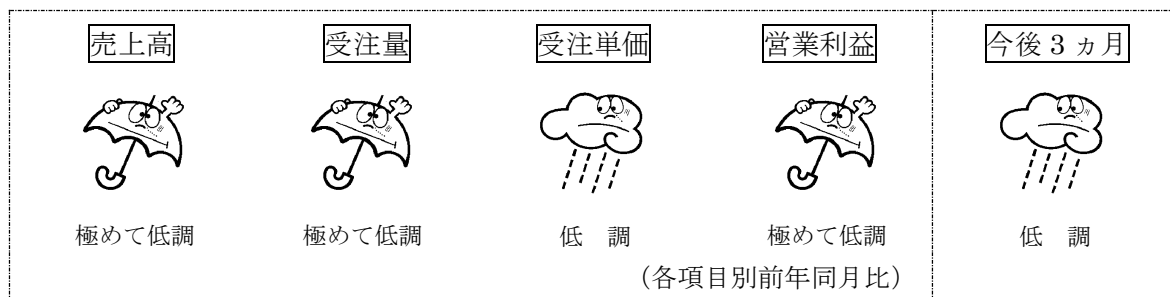
【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 26.1	▲ 13.1	▲ 8.3	0.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 4.0	16.6	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 35.0	▲ 18.2
受注量	▲ 8.7	0.0	▲ 12.5	4.0	4.0	20.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 16.7	▲ 25.0	▲ 55.0	▲ 36.4
受注単価	▲ 4.3	▲ 8.7	0.0	4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 8.3	▲ 5.0	▲ 15.0	▲ 18.2
営業利益	▲ 13.1	▲ 17.4	▲ 16.7	0.0	▲ 8.0	▲ 4.0	▲ 4.0	0.0	▲ 4.2	▲ 29.1	▲ 30.0	▲ 40.0	▲ 31.8
見通し	13.0	4.3	8.4	▲ 4.0	▲ 4.0	4.0	0.0	▲ 8.0	4.2	▲ 12.5	▲ 5.0	▲ 25.0	▲ 13.7

## <経営者の目・見方・etc>

- 建築工事**
  - ・ゴールデンウィーク明けから県内は徐々に活動が再開され、自粛要請の解除もなされた。アフターコロナの生活に順応しながらの経済活動の回復に希望を持ちたい。
- 土木工事**
  - ・全体的にまあまあの動きをしていると思う。
  - ・土木業界は災害復旧等地域格差もあり業者間の受注量の格差がみられる。
- 管工事**
  - ・受託先が増えたため売り上げが多かった。営業利益は比例しては上がらなかったが下がるのに歯止めをかけることができた。今後研究の余地あり。
- 電気工事**
  - ・官庁関係の案件が少しずつ出てきているので、入札参加しつつ、一般工事の仕事確保に力を入れ、コロナ禍の前の状態に戻していくときではなかろうか。

## 2. 製造業



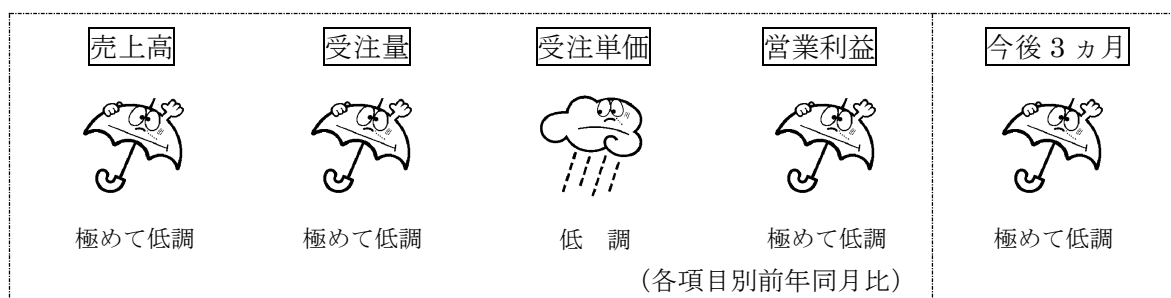
【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 4.8	▲ 22.8	▲ 4.8	▲ 35.0	13.6	0.0	▲ 18.2	▲ 40.9	▲ 14.3	▲ 41.0	▲ 19.1	▲ 75.0	▲ 70.0
受注量	▲ 14.3	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	4.5	▲ 10.5	▲ 22.8	▲ 27.3	▲ 19.0	▲ 41.0	▲ 33.3	▲ 75.0	▲ 75.0
受注単価	▲ 19.0	▲ 9.1	▲ 4.8	▲ 10.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 22.7	▲ 13.6	▲ 14.2	▲ 9.1	▲ 4.7	▲ 25.0	▲ 25.0
営業利益	▲ 19.1	▲ 18.2	▲ 19.0	▲ 45.0	▲ 9.1	▲ 10.5	▲ 31.8	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 50.0	▲ 38.1	▲ 81.2	▲ 65.0
見通し	▲ 14.3	0.0	▲ 9.5	▲ 20.0	▲ 18.2	▲ 15.8	▲ 27.3	▲ 4.5	4.8	▲ 22.8	▲ 38.1	▲ 31.3	▲ 30.0

### <経営者の目・見方・e t c>

- |          |  |
|----------|--|
| 印刷       | ・観光都市として、松本ぼんぼん、OMF、松本マラソン等々を中止としている以上、経済がうまく回るようになるのはまだまだ先かと思う。                                     |
| 豆腐       | ・学校給食は6月から再開したが、生ものはまだ扱わないということなので、関連している事業所の影響は大きい。ホテル、旅館、飲食店への客足もまだまだ戻らないようで、そちらへの卸も厳しい状況が続きそうである。 |
| 紙器       | ・このような状態になるとは思っていなかった。今の世の中、何が起るのかわからないが、とにかくにも元気で生きていかなければならない。東京のほうはもっと良くないがもう少し静観していきたいと思っている。    |
| 小型情報機器組立 | ・製造業は部品や材料が入らないためこれからが悪くなっていく。人が余りはじめている。  |
| 金属塗装     | ・新型コロナウイルス感染症の影響で受注、売上が減少した。6月以降はさらに落ち込みそうで心配である。  |

### 3. 卸売業



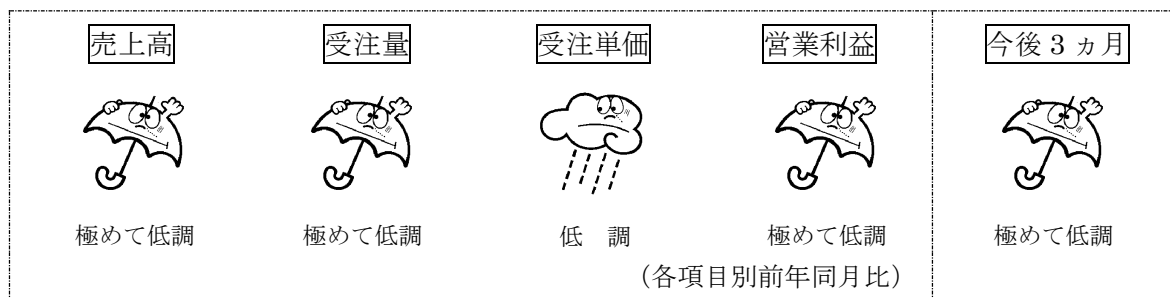
【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 25.0	▲ 15.4	▲ 40.0	▲ 50.0	▲ 41.7	▲ 64.3	▲ 50.0	▲ 38.5	▲ 30.8	▲ 28.6	▲ 81.8	▲ 63.6	▲ 72.7
販売客数	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 30.0	▲ 20.0	▲ 16.7	▲ 28.6	▲ 16.7	▲ 15.4	▲ 15.4	▲ 28.6	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 54.5
販売客単価	0.0	▲ 7.7	▲ 20.0	▲ 20.0	0.0	▲ 35.7	▲ 8.4	7.7	▲ 23.1	▲ 7.1	▲ 54.5	▲ 45.5	▲ 27.3
営業利益	8.3	▲ 15.4	▲ 10.0	▲ 40.0	▲ 16.6	▲ 50.0	▲ 25.0	▲ 23.1	▲ 30.8	▲ 42.9	▲ 54.5	▲ 72.7	▲ 90.9
見通し	0.0	7.7	▲ 10.0	▲ 10.0	8.3	0.0	▲ 16.7	7.7	▲ 23.1	▲ 35.7	▲ 45.5	▲ 36.4	▲ 45.5

#### <経営者の目・見方・etc>

- |                  |  |
|------------------|--|
| 土産品              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・4月と同様な状況が続き非常に厳しい毎日が続いている。売上は前年比の半減以下。緊急事態宣言解除後の人の移動や消費に期待したい。</li> <li>・売上激減に対して今後の対策をどのようにするか早急に決めなければいけない。</li> </ul>         |
| 業務用食品            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症のため3月から全国の学校が臨時休校となった。県内一部自治体で5月18日以降学校の分散登校が始まったが、弊社は5月まで学校の休校が3ヵ月続いた影響が大きい。</li> </ul>                             |
| 青果               | <ul style="list-style-type: none"> <li>・先月に引き続き量販店の動きは良い。業務関係は厳しい状況が続いている。イベント、行事の自粛モードは変わらないが、人出は回復傾向にある。</li> </ul>  |
| 青果卸小売業<br>製菓材料卸売 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・スーパーで買い物したくない新しいお客様がみえた。</li> <li>・消費者動向はさらに引き締め、景気はもっと悪くなりそう。</li> </ul>  |
| 医薬品              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・他業種ほどではないと思うが新型コロナウイルス感染症の影響がいつまで、どのように続くのか前例がなく不安材料である。</li> </ul>  |
| 金属製品             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響は非常に大きく、製作所関連においては一時帰休している企業も多く、先々の仕事量は不透明である。また、建設業界においても、足元の物件は確保されているものの、予定していた物件の延期や中止への不安は拭いきれない。</li> </ul> |
| 機械工具             | <ul style="list-style-type: none"> <li>・いよいよ新型コロナウイルス感染症の影響が大きくなってきた。満足な営業活動ができない。</li> </ul>  |

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	▲ 14.3	▲ 20.7	▲ 25.8	6.7	13.3	▲ 39.3	▲ 21.9	▲ 6.7	▲ 23.4	▲ 25.0	▲ 46.1	▲ 50.0	▲ 72.0
販売客数	▲ 3.6	▲ 31.1	▲ 35.5	0.0	0.0	▲ 42.9	▲ 25.0	▲ 13.3	▲ 6.7	▲ 35.7	▲ 61.5	▲ 62.5	▲ 68.0
販売客単価	▲ 7.2	▲ 20.7	▲ 6.5	3.4	3.3	▲ 35.8	▲ 15.6	10.0	▲ 16.7	3.6	▲ 26.9	▲ 25.0	▲ 28.0
営業利益	▲ 10.7	▲ 27.6	▲ 22.6	▲ 10.0	10.0	▲ 46.4	▲ 28.1	▲ 16.7	▲ 36.7	▲ 35.7	▲ 46.2	▲ 54.2	▲ 68.0
見通し	▲ 10.7	▲ 17.3	▲ 16.1	0.0	▲ 26.6	▲ 10.7	▲ 9.4	▲ 3.3	▲ 26.6	▲ 53.6	▲ 61.6	▲ 45.8	▲ 32.0

### <経営者の目・見方・etc>

印章	<ul style="list-style-type: none"> <li>・去年は「令和特需」、今年は「コロナ不況」。市街地の人出は徐々に増えつつあるが、不要不急の外出は相変わらず少なめである。様々な会の総会が中止になったことも地域経済へのダメージになっている。</li> </ul>
印章・刃物研ぎ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このままの状況が何年も続きそうな気配を感じる。</li> </ul>
生鮮食品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前半連休中も県外のお客様が見えず、お祭りもやらず寂しい休みだった。その後母の日もあり、外食に行けない分、家でおいしい食事をとの動きがあって良かった。行事がみな中止となり先が見えない。</li> </ul>
洋菓子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お菓子に関するイベントもたくさん延期や中止になっている。新型コロナウイルス感染症への対策を行いながら、できる範囲で営業していくしかないと思う。基本的にまだ先行きは暗いので、逆に今しかできないことをやりつつ前を向いてやっていきたい。</li> </ul>
和菓子	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関西方面からの人の流れがないと観光土産の動きが鈍いように感じる。</li> </ul>
味噌・しょうゆ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・取引先の休業で売上が激減した。同業者の廃業もあり新型コロナウイルス感染症の影響は大きい。</li> </ul>
婦人服	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響で百貨店が15日まで休業になり、売上也昨年29%になってしまった。遊び着の需要が無くなってしまったと感じる。秋冬の回復を待ちたい。様々な助成金があって助かった。販促物を明るい柄にして工夫している。</li> </ul>
化粧品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・集客等企画ができないことははがゆいこと。国全体としての新型コロナウイルス感染症の終息が待ち遠しい。今後の店としての対応を改めて考え直す時である。</li> </ul>
手芸材料	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言が解除されたとはいえ、短時間に経済活動が以前の水準に戻るとは考えにくい。</li> </ul>
薬局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・処方箋と市販薬がダウンした。顧客も先送りが増えた。</li> </ul>
住宅機器	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響と増税のダブルで動きが例年より良くない。</li> </ul>



燃料  
陶磁器

- ・新型コロナウイルス感染症の影響と原油価格が気になる。
- ・テレビを見ながら自粛生活をしていると、日本全国同じように自粛をしているのかと思っていたが、宣言解除後に県外出張を再開してみると、もともと観光客がこないような地方都市では、新型コロナウイルス感染症前後での往来は大して変わらず、飲食店も地元客相手に通常通りの営業が続いていた。松本は観光都市ゆえに影響が大きく、市民も慎重になりすぎたのかもしれない。

## 5. 飲食業



【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	0.0	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 31.3	▲ 76.5	▲ 43.8	▲ 20.0	▲ 31.2	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0
販売客数	5.5	▲ 47.1	▲ 12.5	▲ 26.6	▲ 37.5	▲ 70.6	▲ 43.8	▲ 13.4	▲ 25.0	▲ 47.0	▲ 92.9	▲ 92.3	▲ 100.0
販売客単価	▲ 5.5	▲ 23.5	0.0	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 17.6	▲ 18.7	▲ 20.0	▲ 18.7	▲ 23.5	▲ 57.1	▲ 69.2	▲ 81.3
営業利益	▲ 5.5	▲ 47.1	▲ 18.8	▲ 20.0	▲ 43.7	▲ 82.4	▲ 50.0	▲ 40.0	▲ 37.5	▲ 52.9	▲ 85.7	▲ 92.3	▲ 100.0
見通し	▲ 5.5	11.7	0.0	▲ 13.3	▲ 12.5	▲ 5.9	▲ 6.2	▲ 13.3	▲ 6.3	▲ 47.1	▲ 71.4	▲ 46.2	▲ 18.7

### <経営者の目・見方・e t c>

料理

- ・例会が開催されず人が動かず、全てが小さくなってきてこのままいつまで続くのか心配である。
- ・連休前から店舗は休業して、デリバリーに特化し、役員のみで作業し従業員は休ませた。その後も5月17日まではこの状況で営業し、店舗を開けても客入りはなかった。6月に入ってから本格的に再開となろう。雇用調整助成金が入金となり、その他持続化給付金も入金となるが、一時しのぎとなりそう。消費マインドが弱い。

創作料理

- ・店は6月いっぱい閉店し、7月に入ったら開店予定である。近所の飲食店も休業中で、現状ではおそらく7月に開店をしたとしても予約は皆無と思われる。しかしながら、手をこまねいて何もしないのも考え物なので、昼食のテイクアウトに挑戦中。弁当は無理なので、ワンコイン(500円)で、あんかけ焼きそば、カレーライスにスープを添えて提供している。1日20~30食だが、まずまず好調である。

食堂

- ・新型コロナウイルス感染症の影響で、宴会の予約が全くない。また、夜のお客様がかなり少ない。昼のお客様は気持ち少なめだが、コロナ禍の前とあまり変わらない。

食堂	<ul style="list-style-type: none"> <li>・連休はイオンモールも休業となり近隣の店も休業するところが多く、車も歩行者もほとんどなく異様な光景となった。緊急事態宣言が解除された月末の土日は以前の人出に戻りつつある。当店ではテイクアウトが増えて助かった。</li> </ul>
寿司	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症が少し収まって緊急事態宣言が解除された。しかし状態はほとんど変わりなく悪いままである。でもこの調子で少しでも早く終息になればこの先期待と希望をもって頑張れる。今は我慢のしどころである。</li> </ul>
郷土料理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールデンウィークがあったが、当店は休み。地元客で密になることもわずかな可能性だが避けた。平日も休日も地元の人がほとんどで、客の入りも以前の2～3割ほど。外を歩く人も少ない。</li> </ul>
居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗へ営業時間や営業スタイル等新型コロナウイルス感染症対策に対しての協力内容についてわかりやすい情報が欲しかった。</li> </ul>
洋風居酒屋	<ul style="list-style-type: none"> <li>・緊急事態宣言が解除されたもののやはり客足が元に戻るのはいよいよ先になりそうだ。平日はガラガラ、週末は以前の平日の客入りとのこと。</li> </ul>
そば	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナの1日でも早い終息とワクチンの接種が早くできる事を願う。</li> <li>・給付金、助成金、協力金の振込が遅く、支払に間に合わず結局借金して支払いを済ませた。</li> </ul>
ラーメン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、店がオープンしていないので駅前には特に悪い。当たり前のことであるが早く終息してほしい。</li> </ul>

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	元年5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2年1月	2月	3月	4月	5月
売上高	16.7	6.4	▲ 4.2	4.0	▲ 12.8	▲ 34.1	4.6	0.0	2.2	▲ 8.9	▲ 25.5	▲ 56.8	▲ 61.4
販売客数	0.0	4.3	▲ 8.3	2.0	▲ 14.9	▲ 40.4	0.0	▲ 10.9	▲ 10.9	▲ 8.9	▲ 32.5	▲ 59.1	▲ 54.5
販売客単価	2.1	2.1	▲ 6.2	6.0	▲ 6.3	▲ 25.5	2.3	▲ 2.2	4.3	▲ 2.2	▲ 16.2	▲ 31.8	▲ 36.4
営業利益	▲ 2.1	4.3	▲ 8.3	▲ 4.0	▲ 17.1	▲ 31.9	▲ 4.6	▲ 4.4	0.0	▲ 8.9	▲ 27.9	▲ 59.1	▲ 59.1
見通し	8.4	6.4	▲ 2.1	▲ 12.0	▲ 14.8	▲ 2.1	▲ 7.0	▲ 10.8	▲ 4.4	▲ 40.0	▲ 44.2	▲ 34.1	▲ 20.5

### <経営者の目・見方・e t c>

自動車整備・  
板金塗装

・今のところあまり影響はなかったように思える。当社の仕事はこれからじわりと出てくると思われる。顧客の中にもパートタイム勤務の方や、飲食業、宿泊業等様々な方がおいでになり、コロナ禍で失業した方までいる。先行き不安である。

機械設計

・新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けるかと思ったが、今のところは仕事が続いている。

ソフトウェア

・新規案件獲得のための打ち合わせが、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全て中止になったのが痛い。同業で常駐派遣を主にしているところなどは、6月くらいで一旦収束してしまう話も聞く。一方、顧客のテレワーク環境の整備や、もともとリモートから保守している案件は堅実である。

システムサポート

・緊急事態宣言の解除と県内での新規感染者が発生していないことで、多少不安要素が少なくなり、精神的な縮小傾向からは脱却してきているが、経済が活性化してくるには時間がかかる。

タクシー

・新型コロナウイルス感染症の拡大で4月に続いて稼働が悪く、前年比で輸送人員が38.5%、売上高が40.4%となった。客単価はほぼ前年並であった。

旅館

・4月中旬より5月末まで休業した。6月以降の予約状況も少なく、いつまで続くか不安である。

・休業中により経営状況はマイナスであった。

温泉旅館

・新型コロナウイルス感染症の影響で非常に悪い状況のまま。緊急事態宣言が解除されるが、おそらくコロナ禍前の環境とは全く違う世界になると思われる。以前の状況に戻れば同じように活動できると考えていると痛い目にあいそうである。経営方針を180度変えてWithコロナや景気後退局面に対応していかないと生き残りは非常に厳しいと思われる。

温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>先月に引き続き5月も宿泊者『激減』。先行きの見通しが立たない。宿泊予約は当宿だけでも8月末まで全て『キャンセル』されている。どうすればいいのか。新型コロナウイルス感染症の特効薬の開発を願うのみ。</li> </ul>
観光旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>県の休業要請で連休まで休業、その後も県をまたぐ移動の自粛や、インバウンドが入国できないこと、そして4月後半から続いている群発地震の影響で6月までは休業を決めた。連休過ぎに申請した持続化給付金は月末にやっと届き、休ませている従業員の雇用調整助成金は申請条件がコロコロ変わり、4月分が申請できたのは5月半ばを過ぎていた。7月からは営業したいが、新型コロナウイルス感染症の第二波が発生するのか、地震が終息するかにかかっている。</li> </ul>
宿泊	<ul style="list-style-type: none"> <li>今シーズンの営業再開は7月15日を予定している。</li> <li>自粛要請で全てがストップしていた。回復にどれだけかかるか大きな不安がある。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月は1ヵ月間休業した。過去に経験したことのない事態である。</li> </ul>
介護サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>感染防止のため、家族からの要望もありデイサービス利用を休んだり、時間短縮するなど自粛傾向だった。利用者減に伴い、パート職員に勤務時間を減らしてもらった。</li> </ul>
倉庫	<ul style="list-style-type: none"> <li>近隣工場の稼働率がさらに低下しており、合わせて物の動きが減っている。緊急事態宣言は解除されたが、5月は更に物流量が落ちており、6月も継続しそう。来期求人活動についても、学生と接触する機会が少なく苦労している。</li> </ul>
測量・建設コンサル タント業	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響か発注が少なく、売上が落ちた。また、影響を受け工期が延長になった業務もあった。</li> </ul>
ホームクリーニング・ リネンサプライ	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で売上及び利益は5月が最悪の状態であり、6月以降は僅かではあるが上昇に転じる気配がある。</li> </ul>
不動産賃貸	<ul style="list-style-type: none"> <li>テナント1ヵ所の家賃を3か月間40%値引きすることになった。</li> </ul>
警備保障	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の影響で通常通り営業できない顧客から値下げ要請があり、できうる限りの協力をした。</li> </ul>
獣医	<ul style="list-style-type: none"> <li>狂犬病予防注射は法律により4、5、6月中に摂取する義務が飼い主にあるが、松本市と塩尻市は4月20日以降新型コロナウイルス感染症によって集合注射が中止となった。国の通達により本年度は接種機関が12月末日までと延期された。経營業績は全般的に前年度同月比より良かった。</li> </ul>
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>来店数、販売数共に前年を大きく下回った。6月も厳しい状況が続くと思う。油断せず感染予防に心掛けていく必要がある。</li> </ul>
教育業	<ul style="list-style-type: none"> <li>松本市内は5月2日に警戒宣言が解除されて以降少しずつ日常が戻ってきている。</li> </ul>
写真	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事、一般行事等ほとんどキャンセルとなった。高校野球が行われる事はうれしい限り。</li> </ul>